

科目名	老年看護学演習ⅠB Gerontological Nursing SeminarⅠB			担当教員 (研究室番号)	未定		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	1年次 後期	科目 区分	専門科目			選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
												遠隔授業	一部
科目 目的	認知症の機序や治療方法を理解し、重症度や症状についてアセスメントする能力を身につけ、認知症高齢者と家族の意思に基づき、高度な看護援助を実践する能力を養うことを目的とする。 なお本科目は、日本看護系大学協議会が定める高度実践看護師教育課程基準（専攻分野専門科目）「5. 認知症老年看護に関する科目」に相当する科目である。												
ディプロ マ・ポリシ ー (DP)	主要なDP	7. 看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。											
	関連する DP	1. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。											
到達 目標	1. 認知症の疾患や重症度、症状について、アセスメントすることができる。 2. 認知症高齢者の生活環境や生活機能についてアセスメントすることができる。 3. アセスメントに基づいて、ケアとキュアの両側面から必要となる看護援助を立案することができる。 4. 治療を要する認知症高齢者に対するケアとキュアを統合した看護について自己の見解を述べることができる。												
成績評価方法 (基準)	①レポート（30%） ②演習内容及びディスカッションへの参加（70%）												
教科書	随時紹介する												
参考書等	随時紹介する												
受講者への メッセージ	認知症について深く理解し、認知症高齢者の意思を尊重した看護援助について考えましょう。												
備考	【演習方法】 ・認知症看護を実践する際の基盤となる視点を学ぶ。 ・高齢者施設（複合型介護施設群：しおりの里）において、アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体病を有する高齢者の事例について、認知症高齢者の病態像をふまえ、看護理論、評価指標・評価尺度を選定した上でアセスメントを実施する。 ・看護計画を立案し、専門看護師としての実践について検討する。 ・具体的な援助方法等について履修者及び教員でロールプレイ等の演習を行い、より適切な援助方法について討議する。												
回	学習項目					学習内容					主担当 教員	授業 方法	
1回	認知症の機序、病態像をふまえた診断と治療方法①					認知機能評価から認知症の病態像を学ぶ。また、アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体病、前頭側頭型認知症等の診断基準と症状・治療について学ぶ。					未定	ライブ 配信	
2回	認知症の機序、病態像をふまえた診断と治療方法②					認知機能評価から認知症の病態像を学ぶ。また、アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体病、前頭側頭型認知症等の診断基準と症状・治療について学ぶ。					未定	ライブ 配信	
3回	認知症高齢者の視点からとらえる認知症高齢者の思いや体験の理解					認知症高齢者の手記やDVDを通して、認知症高齢者の体験世界を理解する。それを通して、重症度別、疾患別のコミュニケーション方法について演習を行う。					未定	対面 (演習)	
4回	認知症高齢者の環境への支援					入院、入所時の認知症の人における環境の意味や環境が及ぼす影響を理解し、環境調整および支援について明確化する。					未定	対面 (演習)	
5回	せん妄のアセスメントと看護①					せん妄と認知症との特徴の違いを理解し、原因や症状をふまえた予防および対応について学ぶ。					未定	ライブ 配信	
6回	せん妄のアセスメントと看護①					せん妄がみられる高齢者の事例について、臨床特性をふまえた高度な看護の実践について演習を通して検討する。					未定	ライブ 配信	
7回	アルツハイマー病を有する高齢者への看護					高齢者施設において、アルツハイマー病を有する高齢者の実際の事例について、認知症高齢者の病態像をふまえ、看護理論、評価指標・評価尺度を選定した上でアセスメントし、立案した看護計画をもとに専門看護師としての高度な看護について検討する。（施設における学外演習）					未定	対面 (演習)	
8回	血管性認知症を有する高齢者への看護					高齢者施設において、血管性認知症を有する高齢者の実際の事例について、認知症高齢者の病態像をふまえ、看護理論、評価指標・評価尺度を選定した上でアセスメントし、立案した看護計画をもとに専門看護師としての高度な看護について検討する。（施設における学外演習）					未定	対面 (演習)	
9回	レビー小体病を有する高齢者への看護					高齢者施設において、レビー小体病を有する高齢者の実際の事例について、認知症高齢者の病態像をふまえ、看護理論、評価指標・評価尺度を選定した上でアセスメントし、立案した看護計画をもとに専門看護師としての高度な看護について検討する。（施設における学外演習）					未定	対面 (演習)	
10回	前頭側頭型認知症を有する高齢者への看護					前頭側頭型認知症を有する高齢者の事例について、臨床特性をふまえ治療と生活支援の両面から捉え、高度な看護の実践について演習を通して検討する。					未定	対面 (演習)	
11回	認知症高齢者へのケアとキュアを統合した看護援助①					認知症高齢者に対する治療と生活支援の両面から捉えた高度な看護方法の実践について、臨地で経験した事例を振り返り、専門看護師の役割を明確化する。					未定	対面 (演習)	
12回	認知症高齢者へのケアとキュアを統合した看護援助②					認知症高齢者が生活する上で生じる課題に対して、治療と生活支援の両面から捉えた高度な援助方法の実践について、履修者および教員でロールプレイを行い、より適切な援助方法について討議する。					未定	対面 (演習)	
13回	認知症高齢者へのケアとキュアを統合した看護援助③					認知症高齢者が生活する上で生じる課題に対して、治療と生活支援の両面から捉えた高度な援助方法の実践について、履修者および教員でロールプレイを行い、より適切な援助方法について討議する。					未定	対面 (演習)	
14回	認知症看護における老人看護専門看護師の役割と課題①					認知症看護を実践する上で老人看護専門看護師がどのような役割を担う必要があるか、演習を通して得た学びを振り返り、自己の課題を明確化する。					未定	対面 (演習)	
15回	認知症看護における老人看護専門看護師の役割と課題②					認知症看護を実践する上で老人看護専門看護師がどのような役割を担う必要があるか、演習を通して得た学びを振り返り、自己の課題を明確化する。					未定	対面 (演習)	